

～春の活動記録～

○壁面飾り『白蛇と梅』『顔晴れ』寄贈

令和3年11月から県立中央病院に、壁面飾りを届けています。今回は、JRC部と書道同好会が協力して、2部の作品を作りました。

『白蛇と梅』



今年は巳年ということもあり、蛇と梅をテーマに壁面飾りを制作した。蛇と梅は縁起の良い絵柄として知られ、蛇は古代東洋の象徴として知恵と再生を表すとされている。また、壁面飾りにある平癒という文字は、病気やケがなおること、全快すること、健康を取り戻すことを意味している。県中に来られる方々に、少しでも僕たちの思いを届けたい気持ちで仕上げた。県中に伺った時、たくさんの医療従事者の方々に感謝の言葉をいただき、嬉しい気持ちで心が満たされ充足感を得ることができた。

『顔晴れ』



制作の思いを
一緒に伝えた。

‘顔晴れ’は、頑張ってくださいの当て字だけでなく、困難な状況であっても前向きに、最終的には笑顔で心も顔も晴れやかな気持ちになっていただきたく、墨で文字をいれることにした。虹のモチーフは、ハワイでは苦難を乗り越えれば良いことがあるという希望に満ちた言葉として「No rain no rainbow」をよく使われていることから、虹を取り入れることにした。病院で頑張る全ての人の背中に希望がそっと寄り添うように願いを込めた。虹は、古代中国で大蛇が天空を貫く時、空に作られるものと想像されていた。この2部作品は、中庭を望む1階ギャラリーの窓に展示していただいた。